

栗原地域の肥料化施設への対応について

谷 四男美 議員（住民）

町長 今後も監視を続けてゆく



施設への搬入路

質問 栗原地域の肥料化施設については、事業化の前に施設内及び周辺の土壌検査を都に要請していたが実施していない。都も町も法に則り適切に処理しているとしていますが、もし汚染があった場合、後始末を区画整理事業費で捻出したならば、税の過大な出費となり断じて許されたい。また、農地の無断転用にはどう対処したのか、搬入道路際の農地への道路築造は町の了解を得たとしているが本当か。町長の答弁を求め

町長 土壌調査は町の申し入れにより、すでに都が栗原地域周辺と青梅市の一部を対象に実施。調査結果は1月発表の予定である。区画整理事業については、産業廃棄物処理施設が存在する中で計画であり、その前提条件を踏まえたうえで最善を尽くす。また、農地の無断転用については、地権者に現状復旧するよう指導し、現在は元どおりにされたが、今後も監視を続けていく。なお、搬入路の築造については、町が了解したことはない。



家庭教育支援の充実について

下野 義子 議員（公明）

教育長

「家庭教育にかかわる冊子」を作成中



質問 これからの社会を担う子どもたちを健やかに、また心豊かに育むために、子育て支援は重要な事業である。中でも、子どもへの接し方やしつけなど保護者の「学び」の支援を

中心とする家庭教育支援は、小1プロブレムや発達障害への認識と対応などを鑑み、喫緊の課題であると考え。そこで、乳幼児から中学生まで、子どもを中心とした窓口の一本化をも視野に入れた支援体制の構築と施策について所見を伺う。

への啓発や支援を含めた検討をしている。窓口の一本化については、福祉と教育が異なることにより親としての自覚を生み出すものと考えている。



子ども会のもちつき大会(松原町)

「家庭教育にかかわる冊子」を作成し情報提供をする予定。現在「特別支援教育ガイドライン」を策定中であり、その中で保護者

小1プロブレム 基本的な生活習慣を身につけないうま入学したため、集団生活や授業が成立しない状態。

こんな質問もありました 町情報のメール配信を。

町長 研究したい。

都和連携した緑の保全事業について

齋藤 成宏 議員（民主）

町長 樹林地21万㎡を保存指定した



質問 町は「緑の基本計画」と「保全実施計画」により計画的な緑地施策を実施中である。また、都は本年6

月に緑あふれる東京の再生を目指す、「緑の東京10年プロジェクト」基本方針を策定した。10月には「緑の東京募

金を創設されている。そこで町長に伺う。問① 緑の保全実施計画の進捗は。町長 現在樹木33本、屋敷林21カ所、樹林地については42カ所21万1313㎡を保存指定し、大きな成果をあげている。問② 都は市町村との連携を図りたいと訴えているがどう応えるか。町長 町の保全事業は都が策定した「緑の東京10年プロジェクト」の趣旨に沿ったものであり、今後も都との連携に努力したい。



保存樹林地(長岡地区)

問③ 無電柱化による街路樹倍増、校庭芝生化などが掲げられているがどうか。町長 無電柱化は、都が箱根ヶ崎駅東口・都道166号線の整備事業にて実施予定。校庭の芝生化は、補助金の制約などの課題もあり、先進地を視察するなど、調査・研究をしたい。

議会傍聴にお越しく下さい。

3月定例会（予定）

- 2月25日(月) 議会運営委員会
- 3月 5日(水) 本会議(一般質問)
- 6日(木) 本会議(一般質問・議案審議)
- 7日(金) 本会議(一般質問・議案審議)
- 11日(火) 総務常任委員会
- 12日(水) 産業建設常任委員会
- 13日(木) 厚生文教常任委員会
- 14日(金) 本会議(議案審議)
- 17日(月) 予算特別委員会
- 18日(火) 予算特別委員会
- 21日(金) 予算特別委員会
- 24日(月) 議会運営委員会
- 26日(水) 本会議(議案審議)

3月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は、2月20日(水)になります。

お問い合わせ 議会事務局 TEL 557-7693(直通)